

個人事業主向け

確定申告ソフトの 選び方完全ガイド



※ 本資料は参考情報であり、法令等への適合性や内容の正確性・完全性について、一切保証するものではありません。
制度の適用にあたっては、必ず公的資料等をご確認ください。

※ 本資料の情報は、2025年12月作成時点のものであり、変更される可能性があります。ご利用の際は、必ず最新情報を公的機関にてご確認ください。

確定申告ソフトとは

確定申告ソフトとは、税務署へ提出する申告書類の作成や、e-Tax（電子申告）による送信を効率化するツールです。簿記や会計の専門知識がなくても、銀行口座やクレジットカードと連携することで、日々の帳簿付けから決算書の作成までを自動化・半自動化できるのが最大の特徴です。

確定申告ソフトを利用するメリット



作業時間の大幅な短縮

クラウド型の確定申告ソフトは銀行口座やクレジットカード、POSレジと連携することで、明細データを自動取得します。さらにAIが勘定科目を推測して自動仕訳を行うため、手入力の手間とミスを大幅に削減できます。



最大75万円の控除

青色申告特別控除（2027年度から最大75万円）の適用にはe-Tax（電子申告）と優良な電子帳簿保存等が必須要件です。ソフトを使えば、スマホとマイナンバーカードだけで自宅から簡単に送信でき、節税メリットを確実に享受できます。



法令改正への自動対応 （インボイス制度）

インボイス制度や消費税申告の複雑な計算も、ソフトなら自動で集計・作成可能です。常に最新の税制に合わせて自動アップデートされるため、法令違反のリスクを防げます。

失敗しない選び方 6つのチェックポイント

- 1 提供形態:** 「クラウド型」か「インストール型」か
- 2 申告区分:** 青色申告・白色申告の両方に対応しているか
- 3 コスト:** 無料プランやトライアル期間があるか
- 4 スマホ対応:** アプリで仕訳入力や申告書提出が可能か
- 5 連携機能:** 銀行・クレカ・家計簿アプリ等とデータ連携できるか
- 6 サポート:** チャットや電話など、困った時のサポート体制

失敗しない選び方 6つのチェックポイント

クラウド型 vs インストール型

現在、法改正への対応スピードや利便性から「クラウド型」が主流です。

比較項目	クラウド型（推奨）	インストール型
データ保存	インターネット上	パソコン端末内
法改正対応	自動で即時アップデート	手動更新が必要な場合あり
対応OS	Windows / Mac / スマホ	特定のPC・OSのみが多い
メリット	場所を選ばず作業可能。インボイス・電帳法にも自動対応。	ネット環境不要。買い切り型なら長期コスト安。

クラウド型 vs インストール型

初期設定・連携

事業所情報を登録し、銀行口座やクレジットカード、家計簿アプリ等を連携させます。

仕訳の登録

自動取得されたデータや、スマホ撮影したレシート内容をAIが解析。内容を確認して登録します。

書類作成・送信

入力データから確定申告書・決算書を自動作成。そのままソフト上でe-Tax送信を行えば完了です。

マネーフォワード クラウド確定申告を利用して確定申告を進める方に向けて、
動画やサポートサイトなどをご用意しております。ぜひ、併せてご参考くださいませ。

01

確定申告 はじめてガイド



雑所得や控除の申告に役立つ、確定申告書を提出するまでの流れについてご説明したサポートガイドを用意しております。

ガイドを見る >

02

動画で学ぶ マネーフォワード クラウド 確定申告



動画で、マネーフォワード クラウド確定申告の機能を学べるページをご用意しております。また、**確定申告の基礎について理解**できるような、**YouTube動画も用意しております**ので、ぜひご活用ください。

動画を見る >

03

クラウド確定申告 コラム

初心者の方も悩まず、安心! クラウド確定申告コラム

読む前にもう確認！クラウド確定申告のコツやポイントを伝授します

マネーフォワード クラウド確定申告についてのお問い合わせの中から、お客様が悩みやすい箇所についてコラム形式でご案内しています。確定申告書の作成にお役立てください。**仕訳の考え方や、勘定科目登録のコツ**など会社員の方にも役立つ内容をまとめております。

コラムを見る >